

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日にお届けいたします。

次回発行日は平成27年7月23日（木）です。

---

◆ 目次

1 トピック

・7月1日、九州運輸局に「交通政策部」と「観光部」を設置！～初代の両部長が抱負を語ります～

2 現場レポート

・「鉄道コンテナ施設等見学会」を開催しました！～モーダルシフトの推進に向けて～

・「めざせ！海技者セミナー in FUKUOKA」を開催しました

・関門港での小型船舶事故「ゼロ」に向けて警察署とタッグ

・いやします。ひやします。おんせん県おおいた～おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーンオープニングイベントが開催されました～

・水上での大ジャンプ～長湯ダム湖に国内初「ウェイクケーブルパーク」が完成～

3 お知らせ

・「平成27年度 モーダルシフト等推進事業（補助事業）」の募集

・7月20日「海の日」は船に乗ろう！～小学生運賃無料キャンペーン実施～

4 「海フェスタくまもと」情報

・いよいよ来週の土曜日7月18日に開幕！～天草市、宇土市、長洲町の担当者が最後のアピール～

5 国土交通省からの公共交通に関する情報

6 九州運輸局ホームページアップ情報（6月25日～7月8日掲載分）

---

1 トピック

◆7月1日、九州運輸局に「交通政策部」と「観光部」を設置！

～初代の両部長が抱負を語ります～

国土交通省では地域公共交通の活性化と観光立国の実現に向け、7月1日に組織を再編し、全国9つの地方運輸局に交通政策部と観光部を設置しました。

九州運輸局で初代の交通政策部長、観光部長に就任した両部長の抱負を紹介します。

【交通政策部長 福山 二也】

交通は、国民生活の安定向上と国民経済の健全な発展を図るための社会的な基盤であり、九州においても、本年2月に閣議決定された「交通政策基本計画」の着実な実施を図っていくことが求められます。

まず、人口減少、少子高齢化、モータリゼーションの進展の中で、「コンパクト＋ネットワーク」の推進が重要な地方創生の柱となっております。

特に九州では、過疎地域・離島地域が多いという特徴も踏まえながら、地域交通ネットワークの再構築をしっかりと進めていきます。その際、再構築の中心を担う自治体の交通担当者が少ないという現状を踏まえ、セミナー等を通じ人材育成を図ってまいります。

また、東九州自動車道の開通や九州は東アジアに近いといった立地的好条件があり、物流の拡大や利便性向上に向けた取り組みの推進がある反面、過疎地における物流の課題が存在します。関係業界、関係機関との連携強化を図り、地域物流の課題解決を図ってまいります。

さらに、交通に関わる環境対策・バリアフリー・情報化など九州における交通環境

等に対応した様々な課題も関係者との協力を得ながら総合的に推進してまいります。  
持続可能なまちづくりと交通ネットワークの構築により、地方創生の取組を推進するため、関係者皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

#### 【観光部長 榎本 通也】

九州では、これまで官民観光関係者が一体となり、全国初の広域観光機構である九州観光推進機構をはじめ、観光立国に向け先駆けとなる広域連携を推進してきました。

九州運輸局観光部は、第二期九州観光戦略の一員として、国土交通省が担当する「交通・観光の一体的推進」を使命に、交通政策部と連携し、特に国内外旅行者の「移動交通の利便性向上」を重点に、海陸空交通機関と共同推進して参ります。

外国人旅行者誘致では、海外プロモーションの高度化とともに、外国人旅行者が安心して旅行できる受入環境整備を「両輪のインバウンド政策課題」として推進します。

両者を「温泉アイランド九州広域観光周遊ルート」において重点展開するため、中心的役割を担う九州観光推進機構に対し、国支分局間連携により支援を図ります。国内旅行振興では、九州新幹線や東九州自動車道等の高速交通ネットワークを基盤に、観光圏整備事業等を活用し、「九州東西南北の均衡ある観光発展」に取り組みます。

今後強化すべき課題として、市場変化に対応した観光産業の活性化と人材育成に取り組めます。新設した観光企画課を中心に、旅館のインバウンド展開、免税店、大学等産学官連携での観光実務者教育等を推進します。

地方創生を牽引する観光の持続的発展に向け、ご協力をお願い申し上げます。

※組織再編のリーフレットは次のURLからご覧になれます。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2015-0629-kotsukikaku-3.pdf>

(交通政策部、観光部)

## 2 現場レポート

### ◆「鉄道コンテナ施設等見学会」を開催しました！

～モーダルシフトの推進に向けて～

二酸化炭素排出量の削減、交通渋滞などの環境問題、トラック運送事業者の労働力不足や運転者の長時間労働、物流の効率化などの観点から、幹線輸送を自動車（トラック）から鉄道輸送や海上輸送へ転換（モーダルシフト）することが重要な課題となっています。鉄道貨物輸送は、営業用トラックに比べCO<sub>2</sub>排出量の原単位が約1/9であり、環境への負荷が少ない鉄道に物流をシフトすることで、運輸部門における環境負荷の低減を図ることが可能となります。

九州運輸局では、7月7日に日本貨物鉄道株式会社九州支社との共催及び公益社団法人鉄道貨物協会、九州地方通運業連盟から協賛をいただき、「鉄道コンテナ施設等見学会」を開催しました。

「モーダルシフト推進施策の概要」、「鉄道コンテナ輸送について」及び「エコルールマークについて」の説明の後、福岡貨物ターミナル駅において、展示の各種コンテナの形状や利点の説明、コンテナの荷役状況を見学していただきました。

見学終了後には、参加者から多くの質問が寄せられ、モーダルシフトの受け皿の一つである鉄道貨物輸送に対する理解を深めていただけたのではないかと考えております。

今回の見学会には予定定員を大幅に超える申し込みがあり、また、当日はあいにくの雨模様にもかかわらず、関係者の熱気があふれる見学会となりました。

参加された皆様にもビジネスチャンスにつながるモーダルシフトへのヒントを得ていただけたのではと思っています。

環境対策のみならず、昨今のトラックドライバー不足やトラック事業者の安全確保対策強化への対応等諸問題を解決する一つの方策として、モーダルシフトが注目されています。今後も多くの方にモーダルシフトへの理解を深めていただき、取り組んでいただけるよう、環境・物流課としても周知等の活動を進めて参ります。

モーダルシフトのほか、物流施策についてのご相談は九州運輸局交通政策部 環境・物流課までお気軽にお尋ねください。

見学会の様子は次のURLからご覧になれます。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_310\\_6.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_310_6.pdf)

(交通政策部 環境・物流課)

---

#### ◆「めざせ！海技者セミナー in FUKUOKA」を開催しました

九州運輸局（協賛：九州地区船員対策連絡協議会、（公財）海技教育財団）では、平成27年6月19日（金）に福岡合同庁舎新館において、「めざせ！海技者セミナー in FUKUOKA」を開催しました。福岡での開催は、今回で11回目となり、これまでと同様に関係者のご協力を得て、海運事業者24社に出展していただき、過去最多となる230名の方に参加いただきました。

このセミナーは、船員等の教育機関卒業後に海技資格者となって海の職場を希望する九州各地の海上技術学校生、水産系高等学校生、大学生をはじめ、海の仕事に興味のある若者や就職を希望する船員の雇用促進を図ることを目的に、「内航船員就職セミナー」に併せ「就職面接会・企業説明会」を実施しています。

午前中の就職面接会では、就職を希望する29名の方が真剣な面持ちで企業の面接を受け、午後の企業説明会では187名の学生等に参加いただき、どの企業「ブース」も順番待ちとなるほどの大盛況で、会場内は会社の概要や船舶の就航航路などの説明を熱心に聞く参加者の熱気が溢れていました。

また、海上技術学校生と水産系高等学校生を対象とした午前中の内航船員就職セミナーでは、外航・内航船員として海の仕事を体験された方が講師となり、「内航船員の生活と暮らし」について自身の経験を基に分かりやすく説明していただくとともに、現在船員となって働いている海上技術学校や水産系高等学校の卒業生の活躍ぶりなどを紹介していただきました。参加した学生には、卒業後に船員という職業を選択したときのことを想像してもらい、今後の進路を検討する際の参考にしてもらいました。

なお、セミナーのアンケートでは、多くの参加者から有意義であったとの回答があり、参加企業の方からも「今後も継続して開催して欲しい」との要望がありました。一方、「即戦力となる船員をもっと参加させて欲しい」とのご意見もいただきましたので、今後のセミナー開催にあたっては、その点も踏まえて、より多くの船員の確保・育成に繋がるよう取り組んでまいります。

※九州地区船員対策連絡協議会とは

内航海運が抱えている船員労働力の不足問題に対応するため、九州地方海運組合連合会及び全国内航タンカー海運組合西部支部並びに九州運輸局により構成された協議会。

当日の様子は、次のURLからご覧になれます。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_310\\_8.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_310_8.pdf)

(海事振興部 船員労政課)

---

#### ◆関門港での小型船舶事故「ゼロ」に向けて警察署とタッグ

6月28日(日)梅雨の合間の澄みきった青空の下、福岡県門司警察署と合同による洋上での小型船舶安全パトロールを実施しました。

当日は、門司警察署の「かざし19ト」、 「めかり19ト」の2隻の警備艇が出動し、パトロール担当の「かざし」には、船長他4名の警察署員、当支局の次長、首席検査官、首席船員担当の3名が乗り組み、一方、「めかり」には船長他1名の警察署員に加え、取材に来られた女性新聞社記者1名も乗船し、実際のパトロールの現場をつぶさに見てもらおうこととしました。

1日に約700隻もの船舶が行き交う関門海峡の狭間をぬいながら、庁舎前より、関門海峡を東へ通峡し、北九州空港の沖合までの間、航行・停泊中のプレジャーボート、漁船に対し船舶安全設備の搭載、船舶検査受検、小型船舶操縦者免許証等の確認を行うとともに、安全航行に関するリーフレット等を配布し、法令遵守と海上交通安全を呼びかけました。

約2時間半のパトロールを行った結果、幸いにも違反事項は確認されず、無事に終わることが出来ましたが、11時を過ぎた頃から次第に風が強くなり、船舶への接近・たもを使った書類のやり取りも難儀となるなど、船舶でのパトロールの厳しさも改めて、実感しました。

翌日の新聞記事では、取り組みの紹介と、プレジャーボートの事故の現状など、写真入りで紹介していただきましたが、小型船舶の安全確保と事故防止に向け、今後とも、関係機関と連携を図り、パトロールの実施や、広報活動も継続して行っていきたいと考えています。

パトロールの様子は次のURLからご覧になれます。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_310\\_2.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_310_2.pdf)

(福岡運輸支局)

---

◆いやします。ひやします。おんせん県おおいた  
～おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーンオープニングイベントが開催されました～

7月4日(土)、JR大分駅府内中央口広場(大分駅北口)にて、JRグループと県内の官民が連携して観光客をお迎えする「おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーン」のオープニングイベントが開催されました。

梅雨時期とあって朝からシトシトと小雨が降る中、県内各市町村の白熱した観光PRが行われました。また、16体ものゆるキャラ達によるダンスショーも行われ、集まった大人や子供も雨など気にする事もなく楽しんでいました。

その後のオープニングセレモニーでは広瀬大分県知事の主催者あいさつ、青柳九州旅客鉄道株式会社社長のあいさつに続き、竹田九州運輸局長も来賓を代表し、「DC終了後も大分の観光が継続していくことが大切。関係者も含めた地元住民が、おもてなしの心を一つにして。」とキャンペーンの成功と大分県の観光の発展を祈念した挨拶を行いました。

イベントではゆふいんの源流太鼓が披露される中、会場にはご当地グルメが楽しめる屋台もあり「中津・宇佐のからあげ」「日田のやきそば」「佐伯の岩ガキ」等を食しながら、みなさんも腹鼓を打ちました。

このデスティネーションキャンペーンは9月まで続きますが、県民一体となった「おもてなし」の機運を盛り上げるスタートとなりました。

オープニングセレモニーの様子は次のURLからどうぞ。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_310\\_7.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_310_7.pdf)

(大分運輸支局 企画調整担当)

---

#### ◆水上での大ジャンプ

～長湯ダム湖に国内初「ウェイクケーブルパーク」が完成～

6月27日（土）、大分県竹田市直入町の長湯ダム湖に「水上のスノーボード」とも呼ばれる「ウェイクボード」の競技施設が完成し、競技関係者や竹田市の地元商工業者ら約200人の関係者が招かれたオープニング式典が開催され、施設の完成を祝いました。

「竹田市ウェイクケーブルパーク」では、5本の支柱に水面からおおよそ9メートルの高さにワイヤーを張り巡らし、そこに電動モーターから下がったハンドルをつかんで1周約500メートルの間をボードでジャンプなどの演技をしながら滑走します。

このウェイクボードは、2020年開催の東京オリンピックの追加種目を目指して日本ウェイクボード協会が名乗りを上げたスポーツですが、残念ながら一次選考で落選し、オリンピックの追加競技に採用されなかったものの、にわかに脚光を浴びることとなりました。現在の競技人口は欧米を中心に世界で3千万人、国内は90万人にのぼると言われています。

11月には、日本選手権が既に開催予定であり、この施設は、国際大会の開催できる国内唯一の常設会場となることから、竹田市では、国の内外から、年間8000人の利用者を見込んでおり、今後、国際大会、全国大会の誘致を進めてスポーツ観光の面からも地域の活性化につなげたいとしています。

式典に続き、湖面では早速、日本ウェイクボード協会のプロ選手らによるデモンストラーションの滑走が始まりましたが、大ジャンプなどのエキサイティングな演技に会場の雰囲気はいやがおうでも盛り上がりました。見ていた私も、もう10歳？若ければチャレンジしてみたいというようなわくわくと胸躍る衝動に駆られました。

このウェイクボードの専用施設は7月1日から一般利用できるようになっておりますので、皆様もご自身で、また、ご家族とご一緒に一度チャレンジされてはいかがでしょうか？また、チャレンジの後には、すぐ近くに炭酸泉でおなじみの長湯温泉がありますので温泉に入って疲れも癒されてはいかがでしょうか。

7月からのデスティネーションキャンペーンと相まって、いよいよ大分県内の各地が活気づいてきたことが肌身に感じられてまいりました。

オープニング式典の様子は次のURLからご覧になれます。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_310\\_3.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_310_3.pdf)

（大分運輸支局 総務企画部門）

---

### 3 お知らせ

#### ◆「平成27年度 モーダルシフト等推進事業（補助事業）」の募集

国土交通省は、「平成27年度 モーダルシフト等推進事業（補助事業）」の募集を平成27年7月8日（水）より開始しました。

「モーダルシフト推進事業」及び「幹線輸送集約化推進事業」が対象となっています。

##### 【モーダルシフト推進事業】

貨物自動車による陸上輸送から鉄道輸送又は船舶を利用した海上輸送へ転換すること等により、CO<sub>2</sub>排出量の削減を図ることを目的として実施する事業。

##### 【幹線輸送集約化推進事業】

発荷主から着荷主までの輸送距離が概ね30km以上ある貨物自動車による輸送において、複数荷主の貨物を集約し、積載率を向上させ走行車両台数及びCO<sub>2</sub>排出量の削減を図ること等を目的として実施する事業。

※応募期間：平成27年7月8日（水）～8月19日（水）  
※補助対象事業者の認定は10月初旬目途となっております。

交付要綱等、詳細については下記 URL（国土交通省 HP 物流）にてご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/seisakutokatsu\\_freight\\_tk1\\_00094.html](http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/seisakutokatsu_freight_tk1_00094.html)

モーダルシフトのほか、物流についてのご相談は九州運輸局交通政策部 環境・物流課までお気軽にお問い合わせください。

（交通政策部 環境・物流課）

---

◆7月20日「海の日」は船に乗ろう！  
～小学生運賃無料キャンペーン実施～

海の日（7月20日）に「国内旅客船の小学生運賃を無料とするキャンペーン」が全国規模で実施されます。

昨年度に引き続き、このキャンペーンは、子どもたちに普段あまりなじみのない国内の旅客船（フェリー、遊覧船等）に乗船していただき、船への理解を深めていただくことを目的として、全国で76航路、九州運輸局管内では4航路において小学生運賃の無料サービスやオリジナルグッズがプレゼントされます。

今年は、「海の日」が制定されてから、20回目の節目の年を迎えます。この機会にご家族で乗船して海や自然と触れ合ってみてはいかがでしょうか。

キャンペーンを実施する航路や料金等の詳しい情報は、一般社団法人日本旅客船協会のキャンペーンサイトをご参照下さい。

<http://www.jships.or.jp/children/>

（海事振興部 旅客課）

---

#### —— 4 「海フェスタくまもと」情報 ——

◆いよいよ来週の土曜日7月18日に開幕！～天草市、宇土市、長洲町の担当者が最後のアピール～

「海フェスタくまもと」の開幕までいよいよあと9日、小中学校の夏休みと同時に始まるこの夏最大のビッグイベントが間近に迫ってきました。

7月18日（土）13時からの熊本港内特設ステージでのオープニングセレモニーに始まり、8月2日（日）まで7市1町のいろんな会場で繰り広げられるたくさんのイベントが皆さんをお待ちしています。

今号では最後の準備に大忙しの「天草市」「宇土市」「長洲町」のご担当者に、お勧めのイベントなどを紹介して頂きました。

#### 【天草市】

天草市は、海フェスタくまもとの期間中、10以上の関連イベントの開催を配置しております。中でも7月18・25日・8月1日「天草ほんどハイヤ祭り」（本渡地域）、7月19日「さざ波フェスタ」（有明地域）、「牛深みなとフェスティバル“海族祭”」（牛深地域）は自信をもってお勧めするイベントです。

●天草ほんどハイヤ祭りは、昭和41年天草五橋開通記念行事で披露されたのが始まりで、今年で50回目の記念開催です。祭りの目玉は7月25日の県下最大級の12000発の花火大会とフィナーレの8月1日は参加者約2700人のハイヤ道中総踊りは圧巻です。

●さざ波フェスタは、道の駅「リップルランド」と眼前の「四郎ヶ浜ビーチ」で展開されるお祭りです。メインは夕刻16時からの地元住民出演の賑やかなステージ、一方、ビーチではあまくさサンドアートフェスティバルが開催され、今年は「あまくサンドリーム～Sand Mission 有明」というテーマで創作されてフェスタを大いに盛り上げます。

●牛深みなとフェスティバルは、「海」をテーマとして海にちなんだイベントやラ

イブコンサート、フードマーケットなどが開催され、牛深の美しい海の魅力を体感して頂く祭典です。

天草市は、平成 18 年 3 月、本渡市・牛深市・有明町・御所浦町・倉岳町・栖本町・新和町・五和町・天草町・河浦町の 2 市 8 町が合併し誕生しました。県南西部に位置し、天草上島と天草下島及び御所浦島等で構成されています。

産業は、温暖な気候を活かした農業や、豊かな水産資源を活かした漁業を主として、自然景観、南蛮文化やキリシタンの歴史など多くの観光資源にも恵まれています。特に「長崎の教会群」の構成資産として、平成 24 年 6 月に「天草の崎津集落」が選ばれ、また平成 26 年 7 月、国の文化審議会にて、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」をユネスコへ推薦することが承認され、長崎県とともに世界遺産登録を目指しています。

海フェスタくまもと開催地の南端「天草市」が皆さまのお越しをお待ちしております。

#### 【宇土市】

宇土市は、県のほぼ中央部、有明海と八代海を二分する宇土半島の基部に位置し半島の北半分を占めており、JR 及び国道が東西南北に走る交通の要衝となっています。日本の渚百選に選定された「御輿来（おこしき）海岸」や海の中に電柱が立ち並ぶ「長部田海床路」など有明海の干潟を堪能できます。また、日本最古といわれる「轟泉水道」があり、この水道の水源となっている「轟水源」は、“日本の名水百選”にも選定されています。

「海フェスタくまもと」の開催期間中は、宇土市の自然・文化を活用し、さまざまなイベントを計画していますので、ぜひお越しください。

#### 《うと地蔵まつり》

肥後三大祭りの一つで毎年 8 月 23・24 日の両日で開催されている祭りであります。日頃は小さなお堂にまつられたお地蔵様を、子どもたちが飾り立て、お供え物とともに通りに奉ります。また、商店街には、生活雑貨や日用品を素材にした「造りもん」が並び、祭りを盛り上げます。花火大会、コンサート、民謡パレード、お地蔵さん横丁など町全体が祭り一色となり、大勢の人で埋め尽くされます。

#### 《「海王」乗船・漕行体験イベント》

継体（けいたい）天皇が葬られたとされる大阪の今城塚古墳、推古天皇の陵墓である奈良の植山古墳などから、熊本県宇土地方にしか産しない馬門石（阿蘇ピンク石）で造られた巨大な石棺が見つかったため、当時どのようにして運ばれたのかを研究するため古代船にのせ、実験航海を行ったものであり、復元古代船「海王」に乗って古代のロマンに思いを馳せてもらおうと、大王のひつぎ保存委員会と市教委が毎年開催しているものです。今年は 7 月 19 日（日）に宇土マリーナにてイベント実施予定です。

#### 《海フェスタくまもと PR 状況》

宇土市経済部農林水産課担当者はイベント開催にあたってスケジュールの調整、情報の提供など慌ただしくなっており、日々イベント準備に追われています。宇土市を知っていただくよい機会なので頑張っていきたいと思えます。

#### 【長洲町】

長洲町は、県北西部に位置し、全国有数の金魚の生産地として知られております。近年は県や漁協と連携して、アサリ母貝の放流や有害生物からアサリ資源を保護する事業等を行い将来のアサリ漁獲高の向上を目指し、「つくり育てる」漁業に取り組んでいます。

その有明海において、7 月 20 日（海の日）に熊本北部漁業協同組合主催の大漁安全を祈願する「えべっさん海祭り」が協賛イベントとして行われます。イベントでは、勇壮な海上パレードのほか、県建設業協会玉名支部の協力で有明海の水産資源回復を目的として、ヒラメの稚魚放流を行います。

また、会場内においては海フェスタくまもと協賛ブースを設けて三池海上保安庁の装備品展示を致します。

さらに参加・体験型イベントとして、ジャパンマリンユナイテッド(株)有明事業所の「造船所見学バスツアー」も同時に行います。

その他、期間中様々なイベントを企画しております。是非！お越しください。

天草市、宇土市、長洲町のご担当者から頂いた写真等はこちらから。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_310\\_4.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_310_4.pdf)  
☆メイン会場へのアクセスやその他のイベント情報は、こちらのURLからどうぞ。  
<http://www.umifesta-kumamoto.com/>

----- 5 国土交通省からの公共交通に関する情報 -----  
国土交通省総合政策局公共交通政策部から公共交通に関する情報が発信されました。

今回は「交通政策白書の閣議決定」と「地方運輸局の組織再編」に関する情報です。  
・「交通政策白書」は、交通政策基本法に基づき作成されるもので、今回が記念すべき初めての白書となります。  
・地方運輸局の組織再編は、近年の公共交通に関する施策や観光立国実現のための動き等を踏まえて、新たに交通政策に特化した部、観光に特化した部を設置するものです。

ぜひ一読いただき、関心を持っていただければ幸いです。  
こちらのURLからどうぞ。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/kotsuseisaku\\_310.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/kotsuseisaku_310.pdf)

----- 6 九州運輸局ホームページアップ情報 -----  
(6月25日～7月8日掲載分)

--- 報道発表 -----  
<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

--- お知らせ -----  
<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

--- 総合案内 -----  
《職員採用情報》  
◆九州運輸局業務説明会のご案内  
<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/saiyou/body.htm>

--- 各種情報 -----  
《入札・契約情報》  
◆企画競争実施公示  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU\\_KOUJI](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI)  
◆物品・役務入札公示  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN\\_CHOTATSU](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU)  
◆企画競争結果の公表  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KIKAKU\\_KEKKA](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KIKAKU_KEKKA)

《九州統計情報》  
◆自動車登録・整備関連（自動車保有台数、新規登録自動車数、燃料別等自動車保有台数 平成27年5月分を追加）  
<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/body2.htm>

《行政処分状況》  
◆個別の事業者に対する行政処分等の状況はこちら  
(自動車整備事業者の行政処分状況)  
<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/seibi/seibi.htm>

--- 各種手続き -----  
《海技試験制度・合格発表》  
◆海技免状等の国家試験（平成27年7月定期試験 6級（航海、機関）、通信、電子通信の総合合格発表、「筆記試験合格発表日・口述日程発表日」）  
<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm>

--- 分野別情報 -----



《物流》

◆グリーン物流パートナーシップ推進協議会 メルマガ 第71,72号 掲載  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kyusyu\\_green/index.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kyusyu_green/index.html)

《バス・タクシー・トラック》

◆バス（バスの申請・処分状況 平成27年6月分）  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/bus\\_syobun.htm](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/bus_syobun.htm)

◆タクシー（タクシー事業関係公示等 特定地域における適正と考えられる車両数について）  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya\\_k/file13/ryokaku02-20150626-32-2.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file13/ryokaku02-20150626-32-2.pdf)

◆タクシー（タクシー事業関係公示等 「一般乗用旅客自動車運送事業の公定幅運賃の範囲の指定について」）  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya\\_k/file13/ryokaku02-20150701-18.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file13/ryokaku02-20150701-18.pdf)

◆タクシー（タクシーの申請・処分状況 平成27年6月分）  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/taxi\\_syobun.htm](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/taxi_syobun.htm)

◆トラック（トラックの申請・処分状況 平成27年6月分）  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/truck\\_syobun.htm](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/truck_syobun.htm)

《海事》

◆海運・船（船舶登録関係及び船舶検査関係の項目を記載）  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/m\\_kaiфу.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/m_kaiфу.html)

//////// 編集部より ///  
いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。  
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本  
メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

//

---

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/backnumber-top.htm](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm)  
■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou\\_mail.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html)  
■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）  
mail: [gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp](mailto:gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp)  
Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

---